

# 市民協働事業提案制度 自己評価シート

平成30年度実施事業

作成日 平成31年1月17日

事業名	食品廃棄物削減講座「ごめんなさいと捨てる食べ物をなくすために」
記載団体 /担当課	富士友の会 / 環境部廃棄物対策課

## ※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

## ■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	食品廃棄物が問題となっていること、食品廃棄物を削減する必要があることを共有し、市民への周知、啓発に取り組むことができた。
②役割分担は適切にできましたか。	4	市は会場の手配と各講座の開会時に開催の目的及び委託事業として開催していることを説明すること、受託者は講座実施及び開催準備全般を担うこととし、役割分担は明確だった。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	5	前年度、市民協働事業として採択された時から打合せを開始した。また、講座終了後には毎回反省会を開催し、意見交換を行い、十分に意思の疎通が図られたと考えている。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	市としては、課題解決に「手を挙げていただいた」というスタンスである。上記のとおり意見交換を頻繁に行うことで、良好な関係を築けていたものと考えている。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	3	市民サービスの向上を図るものではないと理解しているため、評価点は「3」とする。講座実施により、少しでも食品廃棄物削減の意識が広まればよいと考えている。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

## ■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足 (評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など)
①目的・目標は達成できましたか。	4	講座実施の最終的な目的 (目標) は可燃ごみが減量することであるが、すぐにその効果が見えるものではない。しかし、食品廃棄物の問題及び食品廃棄物削減の必要性の周知、啓発には有効だったと考えている。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	スケジュールどおり実施できた。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	5	開催数 (6回) 及び定員を超える参加者数という結果から、費用対効果は優れていると考えている。
④事業に対する「受益者 (市民) の満足度」は十分に図られましたか。 (受益者からの評価が分かる場合)	5	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など
		参加者アンケートの結果から、満足度は高かったと理解している。また、講座の雰囲気や参加者の受講姿勢からも、満足度は高かったものと理解している。

## ■ (3) その他、課題や改善方法など

受託者は団体設立から長い歴史を持っており、会員、知識、スキル等を豊富に兼ね備えている。この度の講座実施においても多くの会員の皆様に関わっていただき、実施体制が厚かったことで、安心して業務を委託することができた。また、このような強固な体制が活かされ、多くの市民の皆様に参加していただいたものと考えており、感謝している。